

理事の互選書の例

特定の理事（理事長等）のみが法人を代表する旨の定款の定めがあり、定款の定めに基づき、理事長等を理事の互選により選定した場合に添付します。

理事の互選書

平成〇年〇月〇日午前〇時〇分から、〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号（当法人会議）室において、定款第〇〇条の規定に基づき理事長を選定するため、理事全員の互選の結果、次のとおり決定した。

1. 理事長に理事法務太郎を選定すること。

なお、被選定者は、その就任を承諾した。

(注) 上記の例のように、理事の互選の場で理事長に選定された理事がその就任を承諾し、その旨が記載されている場合には、申請書に就任承諾書を添付する必要はありません。

この場合、申請書には、「就任承諾書は、理事の互選書の記載を援用する。」と記載してください。

上記決定を明確にするため、本互選書を作成し、理事全員が次に記名押印する。

平成〇年〇月〇日

特定非営利活動法人〇〇

理 事 法 務 太 郎 ①

理 事 法 務 一 郎 ①

理 事 法 務 次 郎 ①

(注) 特定の理事（理事長等）のみが法人を代表する場合における当該理事の就任（重任を含む。）による変更登記の申請書には、理事長等を選定した理事の互選書又は理事会議事録に署名（又は記名）押印した署名者全員の印鑑につき市区町村長の作成した印鑑証明書を添付しなければなりません。ただし、重任した理事が法務局に印鑑を提出している者である場合、当該印鑑を議事録署名義務者として議事録に押印しているときには、これらの印鑑証明書を添付する必要はありません。